

平成 9 年 度

# 通 常 総 会 議 案

期 日 平成9年5月30日

場 所 熊本県畜産会館  
(熊本市桜木6丁目3-54)

社団法人 日本あか牛登録協会

# 平成9年度 通常総会次第

期 日:平成9年5月30日

場 所:熊本県畜産会館

- 1.開 会
- 2.会長挨拶
- 3.来賓挨拶
- 4.議長選出
- 5.議事録署名人選出及び書記指名
- 6.議案審議 (提出議案3件)

第1号議案 平成8年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、  
財産目録及び貸借対照表の承認の件

第2号議案 平成9年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認の件

第3号議案 役員の改選の件

- 7.閉 会

# 議 案

- 第1号議案 平成8年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、  
財産目録及び貸借対照表の承認の件
- 第2号議案 平成9年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認の件
- 第3号議案 役員の改選の件

上記の通り提案します。

平成9年5月30日

社団法人 日本あか牛登録協会  
会長理事 續 省 三

# 第1号議案

## 平成8年度 事業報告書

### 1.概況

平成8年度は、わが国の農畜産業界にとって難題の多い年であった。すなわち、英国で発生した狂牛病の問題をはじめとし、続いて発生した病原性大腸菌O-157による集団食中毒事件など、農畜産物の生産から消費に至る各段階に大きな衝撃を与えた。

その影響を受けて、これまで順調に伸びてきた牛肉消費は減退し、さらに安全性や生鮮度の問題が大きく取り上げられてきた。また、景気回復の遅れから高級牛肉離れが進む一方で、中規格牛肉の需要が増大して、A3規格の枝肉価格は堅調に推移し、その結果あか牛の子牛価格は安定基準価格を越える水準まで回復し、生産農家の顔にもいづらか明るさが戻ってきた。しかし、繁殖雌牛頭数の減少から、子牛の生産頭数の回復までには相当の時間がかかりそうである。

このような情勢の中で、本会の登録事業は、前年度において過去最低の水準まで落ち込んだが、本年度においては産肉登録、繁殖登録について幾分回復の兆しが見えてきたことは注目される。

以下は本会が実施した事業の概要である。

### 2.庶務関係

#### (1) 定期監査

平成8年5月10日、本会事務所において、瀬口、平野、大塚の全監事出席のもとに定期監査が実施された。

#### (2) 理事会(第1回)

平成8年5月23日、熊本県畜産会館において理事会を開催し、平成8年度通常総会に提案する議案5件と下記の議案について審議し、いずれも原案通り承認可決した。

- ア.支部交付金配分額の改定について
- イ.職員服務規程の一部改定について
- ウ.臨時職員賃金支給規程の制定について

## 理事会(第2回)

平成9年3月10日、熊本県畜産会館において第2回理事会を開催し、下記の事項について審議した。

### ア.報告事項

- ① 定款変更の認可について
- ② 農林水産省の業務監査結果について
- イ.会費及び登録登記料の配分について
- ウ.平成8年度事業推進及び経理の状況について
- エ.平成9年度事業計画案及び収支予算案について
- オ.平成9年度通常総会の開催日について

## (3)通常総会

平成8年5月23日、熊本県畜産会館において平成8年度通常総会を開催し、下記の議案を審議、いずれも原案通り承認可決した。

- ア.平成7年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録及び貸借対照表の承認の件
- イ.平成8年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の承認の件
- ウ.平成8年度賛助会費の決定の件
- エ.登録登記料の改定の件
- オ.監事の補欠選任の件

## (4)臨時総会

平成8年11月21日、長崎県南高来郡深江町町民センターにおいて平成8年度臨時総会を開催し、下記の議案を審議、いずれも原案通り承認可決した。

- ア.定款変更に関する件
- イ.平成9年度会費及び賛助会費の改定の件
- ウ.子牛登記料及び交雑登記料改定の件

(5) 役員人事

理事(常務理事)辞任	市川昭吉 (平成8年5月23日付)
理事辞任	井野則男 ( 同 日 )
監事辞任	瀬口幸介 ( 同 日 )
同	大塚務徳 ( 同 日 )
常務理事就任	黒肥地一郎( 同 日 )
監事就任	磯川宗逸 ( 同 日 )
同	源 孝行 ( 同 日 )

(6) 農林水産省法人検査

平成9年1月9日、本会事務局において農林水産省家畜生産課の高橋静雄技官、佐々木敦事務官による法人検査が実施された。当日検査された主な事項は下記の通り。

- ア.事業の運営状況
- イ.庶務の処理状況
- ウ.会議の運営状況
- エ.組織の状況
- オ.財産の管理状況
- カ.会計経理の状況
- キ.その他

(7) 農林水産大臣の認可、承認

- ア.定款の変更の認可(平成9年1月17日付)
- イ.登録規程の変更(子牛登記料の改定)の承認(平成9年3月27日付)

### 3.事業成績

#### (1) 会員の状況

本年度の正会員数は、対前年比4.3%減の5,458名であった。各道県支部別の会員数は表1の通りである。また、賛助会員は表2に示した。

表1 正会員数

道県別	本年度会員数	前年度会員数	道県別	本年度会員数	前年度会員数
北海道	201名	226名	静岡	3名	3名
※ 青森	1	1	長崎	153	200
※ 岩手	25	20	対馬	135	134
秋田	283	352	熊本	4,643	4,744
宮城	14	23	合計	5,458	5,703

※は支部未設置県

表2 賛助会員数

道県別	本年度会員数	前年度会員数	道県別	本年度会員数	前年度会員数
北海道	8名	0名	長崎	10名	0名
秋田	10	0	対馬	10	0
東京	3	0	熊本	131	0
茨城	1	0	宮崎	1	0
福岡	1	0			0
佐賀	2	0	合計	177	0

#### (2) 登録事業

前年度において過去最低の水準まで落ち込んだ登録登記頭数は、本年度においても依然として低迷状態は続いている。しかし、子牛価格の安定から、地域によっては雌牛の保留や導入に対する意欲が現れてきたことから、減少傾向にも歯止めがついたものとみられ、産肉登録と繁殖登録は前年度を幾分上回った。

登録区分別ならびに各道県別頭数は表3の通りである。

表3 道県支部別登録登記頭数

区分 支部別	育種高 等登録	高 等 登 録	産 肉 登 録	繁 殖 登 録	子 牛 登 記	交 雑 登 記	合 計
北海道			1 (4)	206 (218)	1,513 (1,580)		1,720 (1,802)
※ 青 森				0 (3)	1 (2)		1 (5)
※ 岩 手				22 (30)	57 (35)		79 (65)
秋 田				56 (62)	695 (1,015)		751 (1,077)
宮 城				0 (5)	0 (3)	15 (21)	15 (29)
静 岡				12 (2)	5 (1)	0 (2)	17 (5)
長 崎				59 (84)	370 (597)	2 (22)	431 (703)
対 馬				59 (26)	195 (180)	1 (18)	255 (224)
熊 本	57 (77)	59 (67)	87 (74)	1,382 (1,313)	15,383 (15,757)	942 (500)	17,910 (17,788)
計	57 (77)	59 (67)	88 (78)	1,796 (1,743)	18,219 (19,170)	960 (563)	21,179 (21,698)
前年比 %	74.0	88.1	112.8	103.0	95.0	170.5	97.6

注:( )内数字は前年度頭数、※は支部未設置県を示す。



### (3) 育種事業

- ① 国、県が事業主体になって推進している肉用牛群改良基地育成事業に積極的に協力し、候補種雄牛の能力調査、基礎雌牛の選定など優良種畜の選抜、ならびに不良形質の除去対策などに取り組んだ。
- ② 間接検定、現場検定及び一般の肥育成績を調査し、得られたデータについて分析、育種改良の基礎資料とした。
- ③ 超音波測定器による肉質形質の調査及び育種改良への応用  
候補種雄牛、繁殖基礎雌牛の選抜利用法の確立のために超音波測定による肉質の診断を実施した。

### (4) 普及指導事業

- ① 全国あか牛振興研究大会の開催  
平成8年11月21日～22日、長崎県島原市、深江町  
参加者 約280名  
登録協議会、各県の情勢報告  
あか牛振興意見発表会(北海道、秋田県、岩手県、長崎県、熊本県より発表)  
超音波診断技術実習 (講師＝宮崎大学農学部 原田宏助教授)  
審査実習、繁殖農家、肥育農家の現地研修
- ② 各県支部が主催した研究会、研修会等に協力すると共に、担当者を派遣し指導に努めた。

### (5) 組織対策事業

支部の活動及び会員の各種会合等に対して協力し、組織の強化に努めた。

### (6) 刊行事業

機関誌『あか牛』第69号を刊行した。

(7) 表彰事業

- ① 各種共進会に対し、それぞれ副賞を贈呈して上位入賞牛を表彰した。
- ② 特別功勞牛の表彰

(8) 受託事業

① 計画交配推進調査事業(熊本県委託)

肉用牛群改良基地育成事業の補完的な事業として、基礎雌牛の選抜、超音波測定、血統分析、繁殖成績等の特性や能力を調査し、計画交配の推進に努めた。

また異常形質の発生状況について調査し原因究明に努めるとともに、DNAを用いた遺伝性疾患解析の勉強会を開催し最新の情報収集に努めた。

計画交配の研修会を開催した。

② 家畜改良体制整備事業(家畜改良事業団委託)

登録関係データのコンピュータ処理を中心に、改良体制整備事業を実施した。

③ 優良肉用牛資源有効活用促進事業(全国肉用牛協会委託)

優良肉用牛資源有効活用促進事業(農畜産業振興事業団の指定助成事業)の中の、育種資源確保対策事業の改良増殖推進型に係る優良雌牛選定基準の指針の策定等について事業を実施した。

品種別選定基準検討会 平成8年8月30日(熊本県畜産会館)

同 平成9年3月10日( 同 )

[指針]

ア. 改良の基本は登録事業であるので、選定にあたっては登録、登記証明書を有する血統明らかなものとする。

イ. あか牛の最大の特長は発育性にある。産肉能力の面からみると、増体性についてはほぼ満足しうる水準に達しているので、今後は肉質面での向上と斉一化を図ることが重要である。

ウ. 父牛の選定についてはすぐれた増体性と肉質を兼備したものとし、産肉能力検定成績がすぐれたものとする。

エ. 母牛については、繁殖性と哺育性にすぐれ、さらに肉質面においても平均レベル以上の能力を備えたものとする。そのためには、産肉情報がすでに得られたもので、育種価による選抜が望ましい。

オ. 超音波による選抜を積極的に取り入れていく。

カ. 育種高等登録牛、産肉登録牛の産子は選定にあたって優先する。

- ④ 地方特定品種緊急総合活性化対策事業(熊本県畜産物価格安定基金協会委託)  
あか牛について、近年熊本県で造成された肉質がすぐれた種雄牛を、計画的に交配することにより、その産子を効率的に選抜し、あか牛の肉質向上を緊急に推進することを目的として、優良あか牛の生産指導、優良あか牛の選抜及び認定等の事業を実施した。

なお、各事業の実施にあたっては、熊本県内の各郡支部に再委託して実施した。

ア. 優良あか牛の生産指導講習会開催

イ. 優良あか牛のグループ育成事業

ウ. 優良あか牛の選抜・認定

- ⑤ 肉用牛改良・生産組合活動実態発表会(地方競馬全国協会、全国肉用牛協会委託)

平成8年11月21日～22日(長崎県深江町、町民センター)

発表者 長崎県加津佐町 太田 寿(豊作はまずあか牛を飼ってから)

同 豊玉町 梅野寅雄(豊玉町におけるあか牛の振興と

同志会の活動について)

熊本県中央町 明石良生(あか牛とともに生きる)

秋田県鷹巣町 佐藤知昭(我が家のあか牛たち)

岩手県川井村 高舘 薫(これからのあか牛生産振興に挑むにあたって)

北海道木古内町 山瀬 薫(若さでチャレンジするあか牛の里づくり)

# 平成 8 年度 収支計算書

収入総額 64,162,734 円

支出総額 66,955,761 円

平成8年 4月 1日から  
平成9年 3月31日まで

収 入 の 部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(款 項 目)	円	円	円	
1. 会 費	8,230,000	6,891,500	1,338,500	
正会員会費	7,800,000	6,607,900	1,192,100	1,300円× 5,083名
賛助会員会費	430,000	283,600	146,400	1,300円× 172名 10,000円× 6口
2. 登 録 料	45,885,000	35,893,900	9,991,100	
育種高等登録料	800,000	540,000	260,000	10,000円× 54件
高等登録料	640,000	448,000	192,000	8,000円× 56件
産肉登録料	800,000	688,000	112,000	8,000円× 86件
繁殖登録料	12,180,000	10,134,000	2,046,000	18,000円×10件(雄) 6,000円× 1,659件 1,550円× 45件
月齢超過料	155,000	69,750	85,250	
子牛登記料	31,000,000	23,228,300	7,771,700	1,550円×14,986件
交雑登記料	310,000	785,850	△ -475,850	1,550円× 507件
3. 証 明 料	577,500	284,500	293,000	
移動証明料	500,000	224,500	275,500	500円× 449件
再交付料	52,500	31,500	21,000	1,050円×30件
書換料	25,000	28,500	△ -3,500	500円×57件
4. 超音波検査料	100,000	0	100,000	500円× 400件
5. 雑 収 入	590,997	403,477	187,520	
雑 収 入	570,997	391,477	179,520	
刊行物頒布代	10,000	12,000	△ -2,000	
寄付金収入	10,000	0	10,000	
6. 積立金取崩収入	1,270,000	1,260,738	9,262	特別積立金取崩し
7. 受 託 金	11,500,000	12,324,000	△ -824,000	全国肉用牛協会 地全協、熊本県 家畜改良事業団
8. 特別負担金収入	6,800,000	6,896,116	△ -96,116	熊本県支部より
当期収入合計 (A)	74,953,497	63,954,231	10,999,266	
前期繰越収支差額	208,503	208,503	0	
収 入 合 計 (B)	75,162,000	64,162,734	10,999,266	

支 出 の 部					
科 目		予 算 額 円	決 算 額 円	差 異 円	備 考
(款 項 目)					
1 管理事務費		21,340,000	20,050,272	1,289,728	
1. 人 件 費		16,100,000	15,942,125	157,875	専任2名 臨時1名 本俸, 諸手当, 賞与 社会保険事業主負担分
	役員旅費	500,000	166,800	333,200	
	給料手当	13,800,000	13,921,600	△ -121,600	
	福利厚生費	1,700,000	1,853,725	△ -153,725	
	旅費交通費	100,000	0	100,000	
2. 事 務 費		3,940,000	2,782,416	1,157,584	
	消耗品費	100,000	86,626	13,374	
	通信運搬費	200,000	173,879	26,121	
	印刷費	50,000	0	50,000	
	事務機リース料	100,000	58,710	41,290	
	賃借料	1,210,000	1,205,352	4,648	
	光熱水料費	150,000	123,661	26,339	
	車輛費	100,000	0	100,000	
	租税公課	1,000,000	424,900	575,100	
	保険料	80,000	36,850	43,150	
	負担金	450,000	445,000	5,000	
	雑費	500,000	227,438	272,562	
3. 会 議 費		1,300,000	1,325,731	△ -25,731	
	役員会費	800,000	904,619	△ -104,619	理事会2回
	総会費	500,000	421,112	78,888	

2 事業費		13,500,000	15,015,814	△ -1,515,814	
	1. 登録事業費	400,000	262,070	137,930	
	2. 普及事業費	800,000	353,720	446,280	
	3. 刊行事業費	400,000	488,220	△ -88,220	機関誌『あか牛』
	4. 褒賞費	400,000	144,200	255,800	
	5. 受託事業	11,500,000	13,767,604	△ -2,267,604	
	計画交配推進調査費	1,500,000	1,320,000	180,000	熊本県
	改良体制整備費	700,000	878,212	△ -178,212	家畜改良事業団
	肉用牛優良資源活用促進事業	4,300,000	3,201,477	1,098,523	全国肉用牛協会
	地方特定品種緊急活性化事業	3,000,000	6,651,479	△ -3,651,479	熊本県畜産物価格安定基金協会
	肉用牛改良生産活動発表会事業	2,000,000	1,716,436	283,564	全国肉用牛協会(地全協)
3. 支部交付金		37,700,500	29,889,675	7,810,825	
	会費支部交付金	3,900,000	3,488,200	411,800	各県支部への交付金
	登録料支部交付金	33,459,500	26,233,300	7,226,200	
	証明料支部交付金	341,000	168,175	172,825	
4. 積立金		2,000,000	2,000,000	0	
	職員退職給与積立金	2,000,000	2,000,000	0	
5. 予備費		621,500	0	621,500	
当期支出合計 (C)		75,162,000	66,955,761	8,206,239	
当期収支差額 (A)-(C)		△ -208,503	△-3,001,530	2,793,027	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	△-2,793,027	2,793,027	

# 収支計算書総括表

社団法人 日本あか牛登録協会  
 平成8年 4月 1日  
 平成9年 3月31日

会計区分	前年度繰越額 円	収入額 円	支出額 円	残高 円	備考
1. 一般会計	208,503	63,954,231	66,955,761	△-2,793,027	
2. 特別会計	28,823,188	2,180,905	1,290,784	29,713,309	
特別積立金	1,260,738	0	1,260,738	0	
車両、器具備品会計	801,427	0	30,046	771,381	
職員退職給与積立金	25,979,978	2,176,990	0	28,156,968	
減価償却積立金	781,045	3,915	0	784,960	
合 計	29,031,691	66,135,136	68,246,545	26,920,282	

# 正味財産増減計算書

社団法人 日本あか牛登録協会  
平成8年4月 1日から  
平成9年3月31日まで

科 目	金 額		
	円	円	円
I. 増加原因の部			
1 事業収入		36,178,400	
登録料	35,893,900		
証明料	284,500		
2 会費収入		6,891,500	
3 受託金収入		12,324,000	
4 雑収入		403,477	
5 特別負担金収入		6,896,116	
6 積立金取崩収入		1,260,738	
7 未収金		11,740,369	
8 積立金収入		2,180,905	
職員退職積立金	2,176,990		
減価償却積立金	3,915		
合 計			77,875,505
II. 減少原因の部			
1 事業費		15,015,814	
登録事業費	262,070		
普及事業費	353,720		
刊行事業費	488,220		
褒賞費	144,200		
受託事業費	13,767,604		
2 管理事務費		20,050,272	
人件費	15,942,125		
事務費	2,782,416		
会議費	1,325,731		
3 支部交付金		29,889,675	
4 積立金繰入れ		2,000,000	
5 未払金		8,536,444	
6 車両備品減価償却額		30,046	
7 退職給与引当金繰入額		1,074,865	
8 特別積立金取崩		1,260,738	
合 計			77,857,854
当期正味財産増加額			17,651
前期繰越正味財産額			△-2,632,869
期末正味財産合計額			△-2,615,218



# 財 産 目 録

社団法人 日本あか牛登録協会  
(平成9年3月31日現在)

( 資 産 の 部 )		
項 目	内 訳	金 額
I. 流 動 資 産	円	13,040,102 円
1. 現 金 預 金	1,299,733	
(1) 現金	0	
(2) 普通預金 (肥後銀行佐土原支店)	1,299,733	
2. 未 収 金	11,740,369	
(1) 正会員会費	486,200	
(2) 登録料	6,486,850	
(3) 証明料	4,500	
(4) 支部交付金超過額	700,170	
(5) 受託金収入	4,062,649	
(熊本県、計画交配推進事業)	396,000	
(全国肉用牛協会、優良資源活用)	476,149	
( " " 、改良生産発表会)	756,000	
(家畜改良事業団、家畜改良体制)	761,500	
(熊本県安定基金協会、地方特定)	1,673,000	
II. 固 定 資 産		26,713,309
1. 基本財産	0	
2. その他の固定資産	26,713,309	
(1) 車両・器具備品 (自家用車ほか)	771,381	
(2) 職員退職給与積立預金 (三井信託銀行、肥後銀行)	21,297,373	
(3) 職員退職給与貸付金	3,859,595	
(4) 減価償却積立預金 (肥後銀行)	784,960	
資 産 合 計		39,753,411

( 負 債 の 部 )		
項 目	内 訳	金 額
I. 流 動 負 債	円	円 9,629,204
1. 預 り 金	1,092,760	
2. 未 払 金	8,536,444	
(1) 登 録 奨 励 金	12,150	
(1) 消 費 税	257,380	
(3) 支 部 交 付 金	5,547,090	
(4) 受 託 事 業 費	2,719,824	
(優良肉用牛資源有効活用事業)	1,005,009	
(地方特定品種緊急総合活性化事業)	1,714,815	
II. 固 定 負 債		32,739,425
1. 職 員 退 職 給 与 引 当 金	32,739,425	
負 債 合 計		42,368,629
正 味 財 産		△-2,615,218

# 貸借対照表

社団法人 日本あか牛登録協会  
(平成9年3月31日現在)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,299,733		
未収金	11,740,369		
流動資産合計		13,040,102	
2. 固定資産			
基本財産	0		
その他の固定資産			
車両・器具備品	771,381		
職員退職積立金	25,156,968		
積立額 28,156,968			
取崩額 3,000,000			
減価償却積立金	784,960		
その他の固定資産合計	26,713,309		
固定資産合計		26,713,309	
資産合計			39,753,411
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	1,092,760		
未払金	8,536,444		
流動負債合計		9,629,204	
2. 固定負債			
職員退職給与引当金	32,739,425		
固定負債合計		32,739,425	
負債合計			42,368,629
III 正味財産の部			
正味財産			△-2,615,218
(うち基本金)			0
当期正味財産増加額			17,651
負債及び正味財産合計			39,753,411

# 社 員 名 簿

社団法人 日本あか牛登録協会  
(平成9年3月31日現在)

道 県 別	社 員 名、社 員 の 種 類 及 び 人 数				
熊 本 県	藤 本 孝 幸 磯 川 宗 逸	ほか ほか	正会員 賛助会員	4,642 名 125 名	5 団体
秋 田 県	安 東 金 久 高 橋 辰 雄	ほか ほか	正会員 賛助会員	282 名 9 名	
北 海 道	石 橋 巧 悦 三 輪 良 作	ほか ほか	正会員 賛助会員	200 名 7 名	
長 崎 県	兼 田 広 北 村 行 隆	ほか ほか	正会員 賛助会員	152 名 9 名	
対 馬	小 田 幹 雄 阿比留 三 郎	ほか ほか	正会員 賛助会員	134 名 9 名	
岩 手 県	石 橋 儀 一 郎	ほか	正会員	24 名	
宮 城 県	岩 崎 環	ほか	正会員	13 名	
東 京 都	瀧 川 昌 宏	ほか	賛助会員	2 名	
静 岡 県	渡 辺 正 樹	ほか	正会員	2 名	
青 森 県	佐 藤 貞 作		正会員	1 名	
茨 城 県	北 野 恒 介		賛助会員	1 名	
福 岡 県	甲 斐 諭		賛助会員	1 名	
佐 賀 県	古 賀 脩	ほか	賛助会員	1 名	
宮 崎 県	原 田 宏		賛助会員	1 名	
合 計	正 会 員 賛 助 会 員		5,458 名 172 名、	5 団 体	

# 監 査 報 告

平成8年度決算ならびに会務全般について監査を実施したので、その結果を下記の通り報告します。

## 記

- 1.登録頭数の低迷状況が依然として続いている中で、一部に回復の兆しが見えてきたことはご同慶に耐えない。あか牛の改良と増殖にさらに一層の努力を期待する。
- 2.一般庶務、経理関係及び書類の整備は適正であり、収支計算書及び財産目録等との照合においても異常を認めない。  
現金、預金ならびに積立金の管理も良好である。

平成 9年 5月 8日

監 事 磯 川 宗 逸 印

監 事 平 野 文 夫 印

監 事 源 孝 行 印

# 第2号議案

## 平成9年度 事業計画書(案)

### 1.概況

ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく関税率の再引下げ(44.3%)や、前年度から尾をひいている狂牛病問題、大腸菌による食中毒事件、さらに台湾で発生し猛威をふるっている口蹄疫など、わが国の畜産は内外からの大きな脅威にさらされている。

このような情勢の中で、あか牛は子牛価格の好転により一部に繁殖雌牛の保留や導入意欲がみられるものの、全体としては飼養農家の高齢化と後継者不足によって飼養頭数の減少はなお続いている。

本会は会員数や登録頭数の減少からくる収入不足によって、財政的には窮地にたたされており、協会の正常な運営が難しくなったことから、本年度は会員各位の理解のもとにやむなく会費及び子牛登記料を改定し新しい料金体系をとるとともに、定款を変更して役員数を削減する等の組織体系の縮減や、その他の支出の節減によって協会の再建を進めることにした。

国産牛肉が見直されている中で、あか牛の評価が日増しに高まってきているので、本年度は、さらに登録事業を中心として改良増殖を推進する一方で、PR活動にも全力を傾注していきたい。

以下は、本年度の主な事業内容である。

### 2.会員数

本年度は下記の会員確保を目標として諸事業を推進する。

正会員	5,500名
賛助会員	200名

### 3.登録事業

- (1) 登録頭数の低迷状態はいぜんとして続いているが、前年度において一部に繁殖雌牛の保留意欲が出てきたので、本年度は下記の頭数を目標として、さらに登録事業の重要性を強調しながら諸事業を推進する。

(2) 年度内に5頭以上の登録を受審した会員を対象とする登録牛多頭化奨励金制度は、本年度も継続実施する。

(3) 目標頭数

育種高等登録	80頭	(	57頭)
高等登録	80頭	(	59頭)
産肉登録	100頭	(	87頭)
繁殖登録	2,010頭	(	1,786頭)
子牛登記	18,000頭	(	18,219頭)
交雑登記	500頭	(	960頭)

注:かっこ内は前年度の実績

#### 4. 育種改良事業

- (1) 肉用牛改良効率向上推進事業等の種畜選抜事業に対しては、関係機関と連携をとりながら、優良種畜の選抜及び不良形質の淘汰など育種改良事業を推進する。
- (2) 産肉能力検定事業等の推進、現場情報による産肉性の調査、データ分析を通して優良系統を選抜する。さらに、現行の検定方法についての見直しを進める
- (3) 受精卵移植技術、体外受精技術等の新技術に対する取り組みについても継続実施する。
- (4) 超音波検査による優良肉質素材牛の選抜などは継続実施する。

#### 5. 普及指導事業

- (1) 全国あか牛研究会の開催 (熊本県、11月22、23日)
- (2) 各支部主催の研究会、講習会に対する協力

#### 6. 刊行事業

- (1) 機関誌「あか牛」とその他の改良資料の発行。
- (2) PR用パンフレット等の印刷・配布

## 7.表彰事業

- (1) 共進会、共励会での優秀牛の表彰
- (2) 特別功労牛の表彰
- (3) 登録功労者、優良農家(団体)の表彰

## 8.補助事業、受託事業

- (1) 肉用牛改良・生産組合活動実態発表会開催事業(地全協、全国肉用牛協会)
- (2) 優良肉用牛資源有効活用促進事業(全国肉用牛協会)
- (3) 家畜改良体制整備事業(家畜改良事業団)
- (4) 計画交配推進調査事業(熊本県)
- (5) 地方特定品種活性化事業(熊本県、全国肉用牛協会)



# 平成9年度 収支予算書（案）

収入総額 95,504,000 円

支出総額 95,504,000 円

平成 9年 4月 1日から  
平成10年 3月31日まで

収 入 の 部				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(款 項 目)	円	円	円	
1. 会 費	9,740,000	8,230,000	1,510,000	
正会員会費	9,320,000	7,800,000	1,520,000	1,600円× 5,500名
賛助会員会費	420,000	430,000	△ -10,000	1,300円× 400名 1,600円× 200名 10,000円× 10 口
2. 登 録 料	61,630,000	45,885,000	15,745,000	
育種高等登録料	800,000	800,000	0	10,000円× 80件
高等登録料	640,000	640,000	0	8,000円× 80件
産肉登録料	800,000	800,000	0	8,000円× 100件
繁殖登録料	12,180,000	12,180,000	0	18,000円× 10件(雄) 6,000円× 2,000件
月齢超過料	155,000	155,000	0	1,550円× 100件
子牛登記料	45,335,000	31,000,000	14,335,000	2,200円× 18,000件
交雑登記料	1,720,000	310,000	1,410,000	1,550円× 3,700件 2,200円× 500件 1,550円× 400件
3. 証 明 料	307,500	577,500	△ -270,000	
移動証明料	250,000	500,000	△ -250,000	500円× 500件
再交付料	52,500	52,500	0	1,050円× 50件
書換料	5,000	25,000	△ -20,000	500円× 10件
4. 超音波検査料	50,000	100,000	△ -50,000	500円× 100件
5. 雑 収 入	499,527	590,997	△ -91,470	
雑 収 入	479,527	570,997	△ -91,470	
刊行物頒布代	10,000	10,000	0	
寄付金収入	10,000	10,000	0	
6. 積立金取崩収入	0	1,270,000	△ -1,270,000	特別積立金取崩し
7. 積立金運用収入	10,000	0	10,000	
8. 受託金収入	19,060,000	11,500,000	7,560,000	地全協、熊本県 家畜改良事業団
9. 特別負担金収入	7,000,000	6,800,000	200,000	熊本県支部より
当期収入合計 (A)	98,297,027	74,953,497	23,343,530	
前期繰越収支差額	-2,793,027	208,503	△ -3,001,530	
収 入 合 計 (B)	95,504,000	75,162,000	20,342,000	

支 出 の 部				
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(款 項 目)	円	円	円	
1 管理事務費	22,290,000	21,340,000	950,000	
1. 役員費	500,000	500,000	0	
2. 職員費	16,500,000	15,600,000	900,000	
給料手当	14,000,000	13,800,000	200,000	専任2名 12か月分 本俸, 諸手当, 賞与
臨時雇賃金	500,000	0	500,000	
福利厚生費	1,900,000	1,700,000	200,000	社会保険事業主負担分
旅費交通費	100,000	100,000	0	
3. 事務費	3,940,000	3,940,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品代
通信運搬費	200,000	200,000	0	
印刷費	100,000	50,000	50,000	
事務機リース料	100,000	100,000	0	コンピュータ, コピー代
賃借料	1,210,000	1,210,000	0	事務所, 駐車場
光熱水料費	130,000	150,000	△ -20,000	
車輻費	50,000	100,000	△ -50,000	
租税公課	1,100,000	1,000,000	100,000	消費税他
保険料	50,000	80,000	△ -30,000	
負担金	450,000	450,000	0	中畜, 肉用牛協会 技術協会他
雑費	450,000	500,000	△ -50,000	
4. 会議費	1,350,000	1,300,000	50,000	
役員会費	850,000	800,000	50,000	
總會費	500,000	500,000	0	

2 事業費		19,950,000	13,500,000	6,450,000	
1.	育種改良登録事業費	500,000	400,000	100,000	
2.	普及事業費	900,000	800,000	100,000	全国研究会
3.	刊行事業費	450,000	400,000	50,000	
4.	褒賞費	400,000	400,000	0	
5.	受託事業	17,700,000	11,500,000	6,200,000	
	計画交配推進調査費	1,300,000	1,500,000	△ -200,000	熊本県
	改良体制整備費	600,000	700,000	△ -100,000	家畜改良事業団
	肉用牛優良資源活用促進事業	5,000,000	4,300,000	700,000	全国肉用牛協会 (前年度事業分 100万を含む)
	地方特定品種緊急活性化事業	9,000,000	3,000,000	6,000,000	熊本県安定基金協会 (前年度事業分 100万を含む)
	肉用牛改良生産活動発表会事業	1,800,000	2,000,000	△ -200,000	全国肉用牛協会 (地全協)
3. 支部交付金		49,923,000	37,700,500	12,222,500	
	会費支部交付金	3,900,000	3,900,000	0	各県支部への 交付金
	登録料支部交付金	45,844,000	33,459,500	12,384,500	
	証明料支部交付金	179,000	341,000	△ -162,000	
4. 積立金		2,800,000	2,000,000	800,000	
	職員退職給与積立金	2,800,000	2,000,000	800,000	
5. 予備費		541,000	621,500	△ -80,500	
当期支出合計 (C)		95,504,000	75,162,000	20,342,000	
当期収支差額 (A)-(C)		2,793,027	△ -208,503	3,001,530	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	

(注) 1. 借入金最高限度額は300万円

## 第3号議案

### 役員の改選の件

役員任期満了に伴う改選の件を上程する。

理事	10人以上 15人以内
監事	2人

# 役員名簿

社団法人 日本あか牛登録協会  
(平成9年3月31日現在)

役職	氏名	所属	現住所
会長	續 省 三	学識経験者(日本飼料作物種子協会会長)	東京都田無市向台町4丁目15番34号
副会長	岡 本 篤	熊本県支部長(熊本県畜産農協連合会長)	熊本市上南部町 799番地
副会長	加 藤 義 孝	秋田県支部長(秋田県畜産農協連合会長)	秋田県男鹿市脇本字脇本中野21番地
常務理事	黒肥地 一郎	学識経験者(元鹿児島大学農学部教授)	熊本市梶尾町1359番地30
理事	木 原 竹 弘	北海道支部長(北海道肉用家畜協会会長)	北海道厚岸郡厚岸町 大字太田村字大別5番地の185
理事	吉 田 敏 雄	北海道道南肉用牛振興協議会会長	北海道上磯郡木古内町大字中野300番地の1
理事	佐 藤 平 安	秋田県阿仁東部畜産農協長	秋田県北秋田郡阿仁町根子又の12番地
理事	成 田 廣 造	秋田県山本畜産農協長	秋田県山本郡二ツ井町山根 102番地
理事	高 田 倭 男	長崎県支部長(長崎県有家町農協理事)	長崎県南高来郡有家町山川 448番地
理事	佐々木 富 雄	長崎県対馬支部長(対馬農協長)	長崎県下県郡巖原町大字豆酸内院145番地
理事	太田黒 鐵 郎	熊本県畜産農協常務理事	熊本県鹿本郡鹿北町大字岩野5457番地
理事	魚 住 汎 英	熊本県畜産農協理事	熊本県菊池市隈府 295番地
理事	府 内 哲 熊	熊本県畜産農協副組合長	熊本県菊池郡大津町大字平川 212番地
理事	北 里 達之助	熊本県阿蘇小国郷農協長	熊本県阿蘇郡小国町黒淵1710番地
理事	穴 見 盛 雄	熊本県南阿蘇畜産農協長	熊本県阿蘇郡蘇陽町大字大見口 299番地
理事	高 岡 隆 盛	前熊本県球磨畜産農協長	熊本県球磨郡相良村大字四浦西 153番地
理事	工 藤 益 雄	学識経験者(前球磨畜産農協参事)	熊本県人吉市鬼木町 610番地の3
監 事	磯 川 宗 逸	学識経験者(熊本県畜産課長)	熊本県菊池郡西合志町大字須屋3122番地7
監 事	平 野 文 夫	元熊本県南関郷農協長	熊本県玉名郡南関町大字細永4476番地
監 事	源 孝 行	熊本県畜産農協理事	熊本県上益城郡矢部町大字御所1635番地2